

2024年5月期 第2四半期
決算説明資料

2024年1月11日

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

✓ 2024年5月期 第2四半期実績 前年同期比 減収増益

- 売上高は欧州での販売量減少や国内建設市場の停滞などにより約57億円減収
個人消費の回復により商業施設事業は増収となったが、建設市場の停滞影響に加えて、国内外でのアルミ地金市況に連動した売上の減少、欧州子会社での販売量減少などにより減収。
- 営業利益は価格改定効果などにより約16億円増益
売上の減少やエネルギー・諸資材価格の上昇影響があったものの、全事業で進めた価格改定やコスト削減効果により増益。

✓ 2024年5月期 通期業績見通しについて

国内では建設市場の停滞継続、物流費・人件費などの上昇影響が見込まれることや、欧州子会社においてEV販売の減速懸念がある一方、国内の自動車分野に加えて小売業が回復傾向にあること、政府主導の大型支援制度「住宅省エネキャンペーン」によるリフォーム需要の増加などを踏まえて、2024年5月期の通期業績見通しは据え置く。

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による当社グループの業績に与える影響については現在調査中であり、開示すべき事象が発生したときは速やかにお知らせいたします。

業績結果

(億円)

	6ヵ月累計（2023年6月～2023年11月）						
	2024/5期 2Q実績	2023/5期 2Q実績	前年同期比		2024/5期 2Q期初計画	期初計画比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	1,813	1,871	▲57	▲ 3.1%	1,890	▲ 76	▲ 4.0%
営業利益	24	8	+ 16	+ 183.2%	30	▲ 5	▲ 17.4%
営業利益率	1.4%	0.5%	—	+0.9p	1.6%	—	▲0.2p
経常利益	27	13	+ 14	+ 107.5%	30	▲ 2	▲ 8.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	5	+ 7	+ 150.0%	15	▲ 2	▲ 14.2%

	3ヵ月累計（2023年9月～2023年11月）			
	2024/5期 2Q3ヵ月実績	2023/5期 2Q3ヵ月実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	928	995	▲66	▲ 6.7%
営業利益	18	18	▲0	▲ 0.1%
営業利益率	2.0%	1.8%	—	+0.2p
経常利益	16	21	▲4	▲ 20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	15	▲8	▲ 56.4%

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

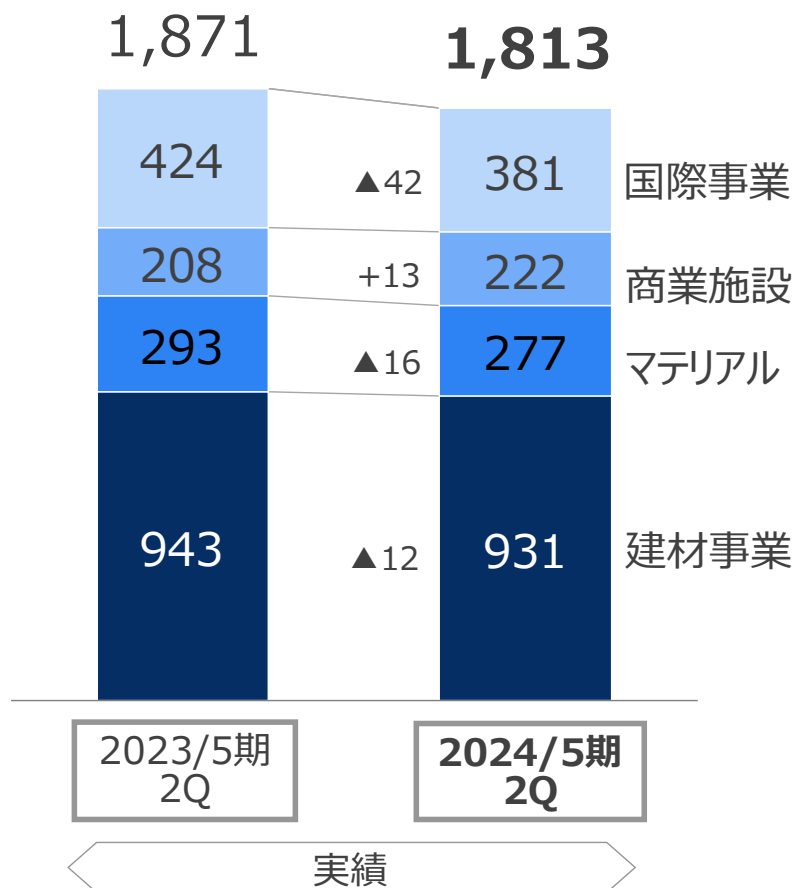
配当

1株当たり 中間配当 10円
 期末配当 10円（予定）

売上高

1,813 億円

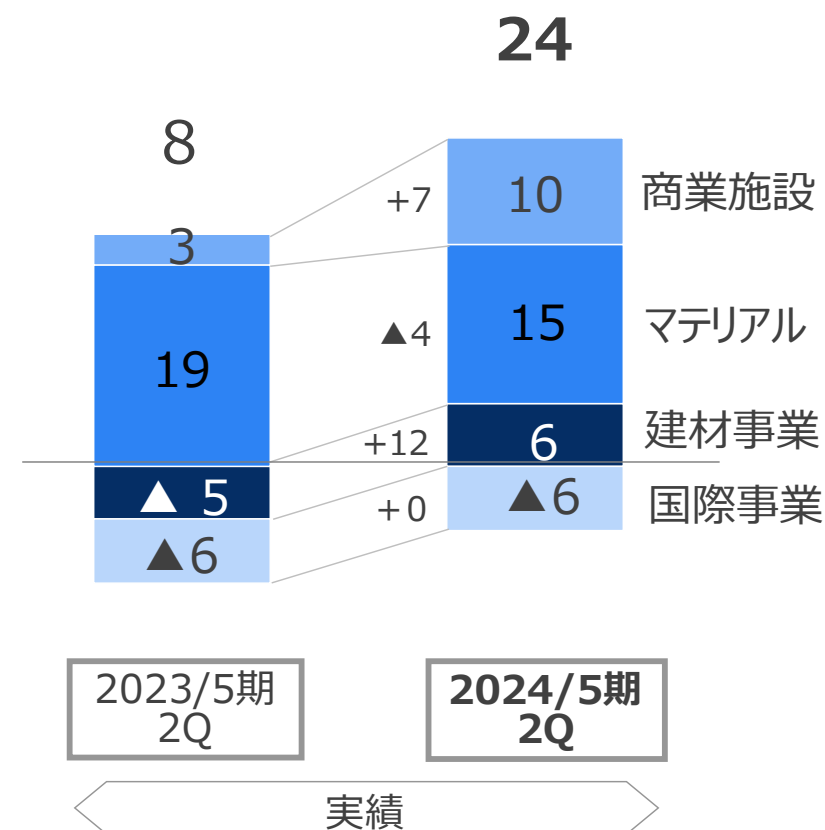
前年同期比 ▲ 57 億円
(▲ 3.1%)



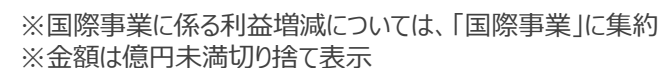
営業利益

24 億円

前年同期比 + 16 億円
(+ 183.2%)



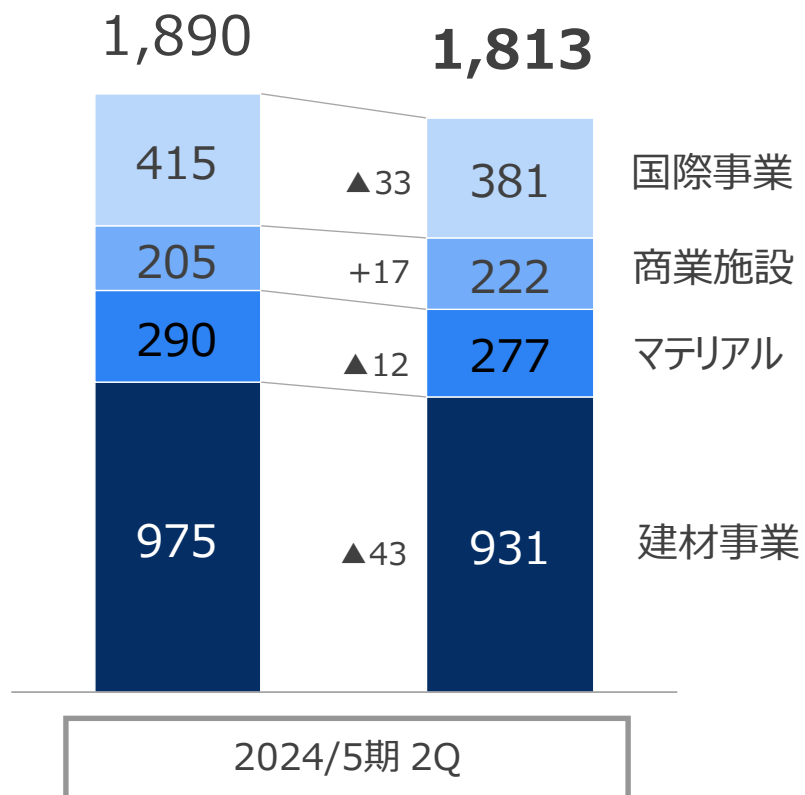
※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



売上高

1,813 億円

期初計画比 ▲ 76 億円
(▲ 4.0%)



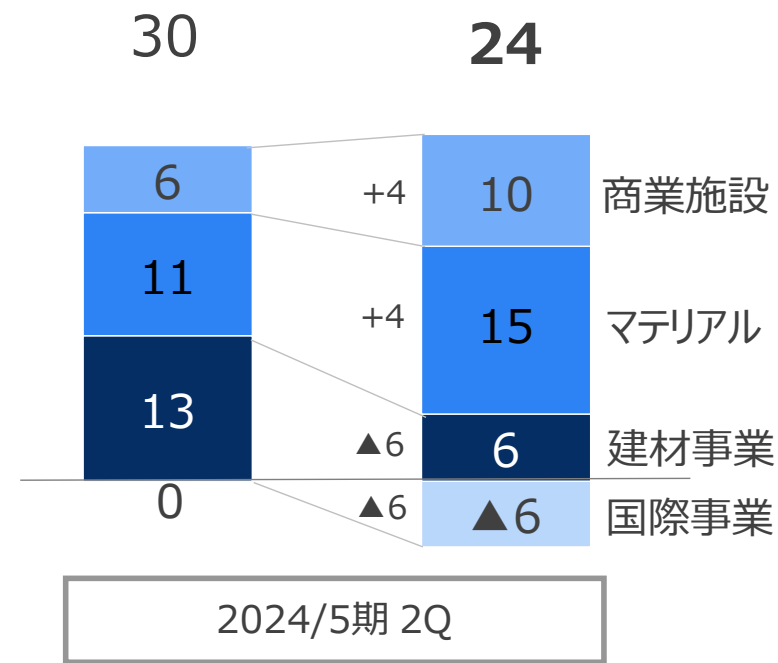
期初計画

実績

営業利益

24 億円

期初計画比 ▲ 5 億円
(▲ 17.4%)

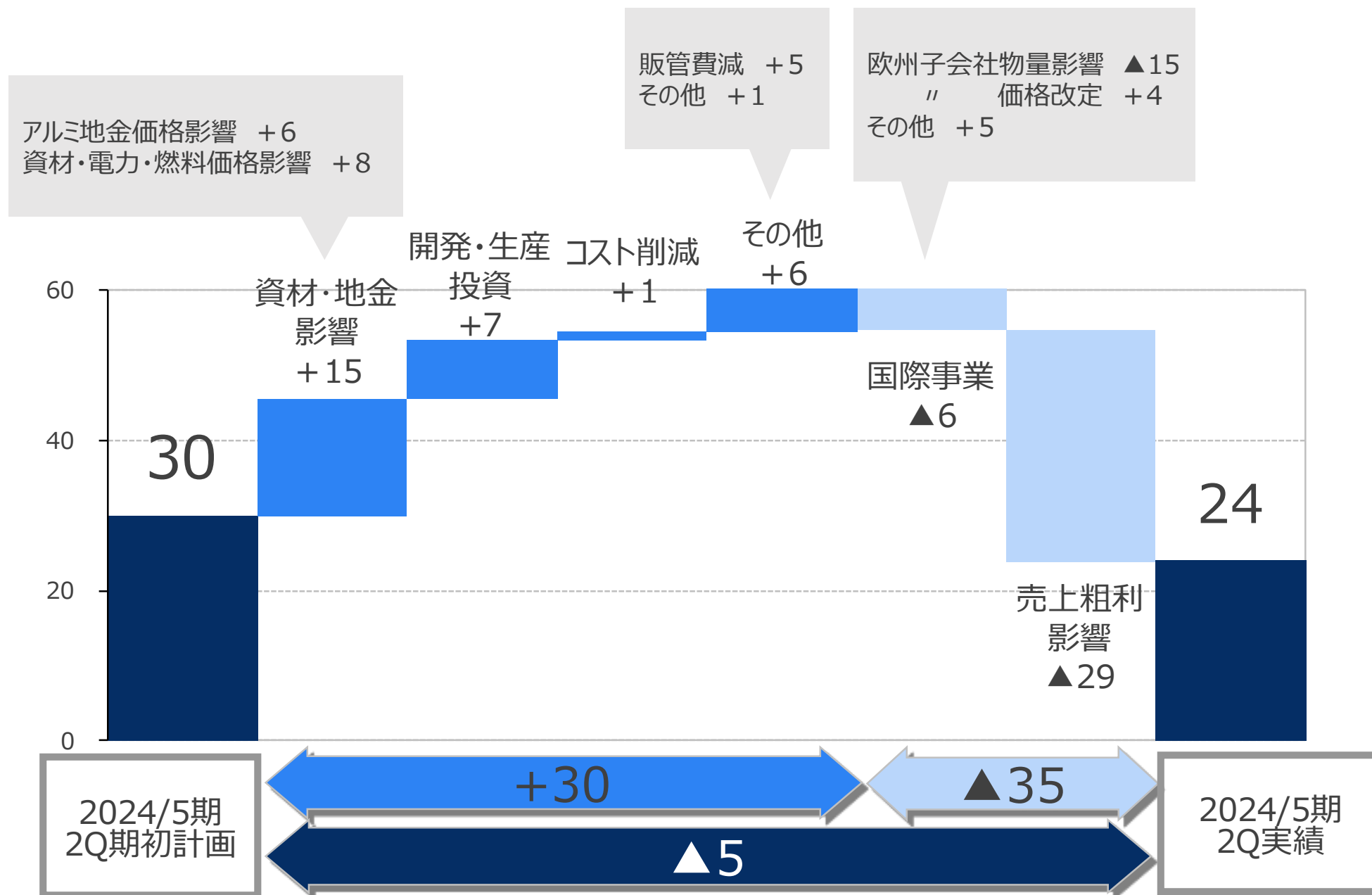


期初計画

実績

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

2024/5期 第2四半期 営業利益 増減要因（計画比）



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
※金額は億円未満切り捨て表示

新湊東工場に新規のアルミ押出ラインを増設 EVを中心とする自動車分野への供給能力を増強

三協マテリアル社 新湊東工場を拡張するとともに、新たな押出ラインの増設を決定。中長期で成長が見込まれるEV市場に向けたアルミ型材の供給能力の増強を図る。

◆増築工事概要

工場名	三協立山株式会社 三協マテリアル社 新湊東工場
所在地	富山県射水市新堀28-1
投資予定額	約120億円
建築面積	増築分 12,862㎡（工場全体 26,566㎡）
構造・規模	鉄骨造 地上2階
着工予定	2024年7月1日
竣工予定	2025年10月31日
製造品目	アルミニウム押出型材
生産能力	約1,000t/月
押出機	1台（5,500UST）
太陽光発電システム	増築部分の屋根上に約7,000㎡のパネルを設置、パネル出力約1MW



増築イメージ

長期ビジョン「VISION2030」の達成に向け、マテリアル事業の成長に注力してまいりました。今回の新たな押出ラインの増設により自動車のEV化・他のアルミ需要の拡大に対応してまいります。また、屋根上に設置する太陽光発電システムにより発電した電力を同工場内で使用することで、当社が目指すサステナビリティにも寄与してまいります。

ESG関連の内容を充実

「三協立山 統合報告書2023」公開

当社グループの2022年度（2022年6月～2023年5月）の取り組みをまとめた「三協立山 統合報告書2023」をホームページに公開。

主な内容

■ 価値創造の基盤「脱炭素実現に向けた貢献」

サステナビリティビジョン2050に掲げている「カーボンニュートラルへの挑戦」、「資源の循環」の実現に向けて、「脱炭素」をテーマに当社の現状や今後の取り組みについて詳細を紹介。

■ 価値創造の基盤「人財を未来へつなぐ」

「人財を未来へつなぐ」の実現に向けて「人材活用」をテーマに、当社の現状や今後の取り組みについて詳細を紹介。また、様々な社員のメッセージを紹介し、多様な人材が活躍していることを表現している。

● 統合報告書掲載ページ ➡ https://www.st-grp.co.jp/ir/group_report.html



※昨年掲載の化学物質対策、商品開発の基本姿勢、環境経営および環境リスクへの対応などは、当社ホームページの「サステナビリティ」ページで内容更新
➡ <https://www.st-grp.co.jp/sustainability/index.html>



「住宅省エネ2023キャンペーン」交付申請受付終了 「住宅省エネ2024キャンペーン」始動へ

2022年末より3省（経済産業省、国土交通省、環境省）の連携で行っていた住宅省エネリフォーム支援「住宅省エネ2023キャンペーン」が盛況のうちに交付申請の受付終了。2024年度も「住宅省エネ2024キャンペーン」として事業継続されることが決定。



住宅省エネ2023キャンペーン

■ 後付樹脂内窓

「プラメイクEⅡ」、「プラメイク」

前年同期比（2023年6月～11月累計）

売上高 約**390%**



住宅省エネ2024キャンペーン

◆ 先進的窓リノベ2024事業 【環境省】 予算 **1,350**億円

対象予定製品（主なもの）

※対象製品は変更になる可能性があります。

- 内窓設置
・「プラメイクEⅡ」、「プラメイク」
- 外窓交換（カバー工法）
・「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ 他

今回よりドアの断熱改修も追加

※窓改修と同一契約が条件

◆ 子育てエコホーム支援事業 【国土交通省】 予算 **2,100**億円

対象予定製品（主なもの）

※対象製品は変更になる可能性があります。

- 内窓設置
・「プラメイクEⅡ」、「プラメイク」
- 外窓・ドア改修
・「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ 他

リフォーム関連商材のさらなる拡販に向けて、販売および生産体制の強化に努めてまいります。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当社の断熱性能の高い製品の提供によりCO₂排出量削減に貢献してまいります。

● 住宅省エネ2024キャンペーン 三協アルミ社ホームページより ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/hojokin/2024/>



カーポート「FⅡ（エフツー）」

「2023年度 グッドデザイン賞」を受賞

（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）



カーポート「FⅡ（エフツー）」



◆商品概要

「FⅡ」は、意匠性と機能性を兼ね備えた、アルミフラット屋根のカーポートです。梁と屋根枠が同化して見えるデザインや屋根接合部をノイズのないシャープな設計にすることで、人の目線からは屋根の厚みを感じさせず、スマートで美しい印象を演出します。また、新構造となる梁と屋根の一体構造により、屋根端部より内側に柱を配置することができ、屋根下への雨の吹込みや直射日光を遮ることが可能です。

◆グッドデザイン賞評価ポイント

現在の車社会において個人宅のカーポートがその街並みに果たす役割は大きい。多くの都市部や郊外における住宅は、道路、駐車場、住宅の順番に並んでおり、個人宅での敷地内における戸外の活動は制限されることが多い。ここで評価したのは、その形や技術だけではなく、あらかじめ片持ち屋根を支える柱の間を収納として利用することを見込んでいるところである。車がない時には住み手の戸外での活動の場となることをサポートし、住み手の生活感が道路側へ滲み出ることによって街並みを変えていける可能性を持っていると考える。

●ニュースリリース（グッドデザイン賞） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/sa20231005.html>



2024年5月期 第2四半期（2023年9月～2023年11月）商品リリース一覧

2023年9月

建材事業

カーポートのパネル材に「ブラックポリカーボネート板」設定 **業界初**

建材事業

カーポート「FⅡ（エフツー）」に木調色とEV/PHEV充電対応モデル 追加



「ブラックポリカーボネート板」施工イメージ

2023年10月

商業施設事業

外照式サイン「アドビュー-C」発売



外照式サイン「アドビュー-C」

2023年11月

建材事業

カーテンウォール用防火内窓「Inprot（インプロット）」発売

建材事業

中低層ビル・マンション用アルミ手すり「N-SLIM（エヌ スリム）」発売

建材事業

大型フェンス・門扉「フレインフォルテ」発売



カーテンウォール用防火内窓「Inprot」

- ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社）
➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/news2023.html>



- ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社）
➡ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>



	対象期間	2021年	2022年	2023年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-9月	44.6万戸 (7.7%増)	44.3万戸 (0.7%減)	41.5万戸 (6.2%減)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-9月	14.9万戸 (13.3%増)	13.2万戸 (10.9%減)	11.9万戸 (10.2%減)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-9月	17.0万戸 (8.9%増)	17.7万戸 (4.3%増)	17.7万戸 (0.3%減)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-9月	34.2百万㎡ (1.6%増)	37.5百万㎡ (9.5%増)	32.3百万㎡ (13.9%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-11月	16.6万 t (5.5%増)	15.7万 t (5.3%減)	18.2万 t (15.3%増)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-9月	2,791棟 (10.6%増)	3,124棟 (11.9%増)	2,758棟 (11.7%減)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-9月	138.8万台 (1.0%増)	169.1万台 (21.8%増)	198.1万台 (17.2%増)
タイ自動車生産台数	4月-9月	74.6万台 (46.4%増)	88.4万台 (18.5%増)	87.8万台 (0.7%減)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-11月	363.6円/kg	405.9円/kg	389.5円/kg

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	437	449	+11	+2.7%				
2Q	505	481	▲24	▲4.8%	943	931	▲12	▲1.3%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画					1,900			

- 価格改定の浸透
- 「住宅省エネキャンペーン」によるリフォーム需要の獲得
- 建築市場の低迷

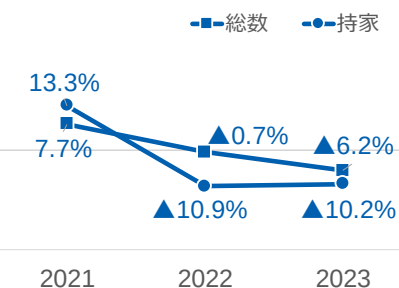
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	▲7	▲3	+4	-				
2Q	1	9	+8	+476.0%	▲5	6	+12	-
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画					17			

- 売上高の減少があったが、価格改定を含めた収益改善施策の効果など

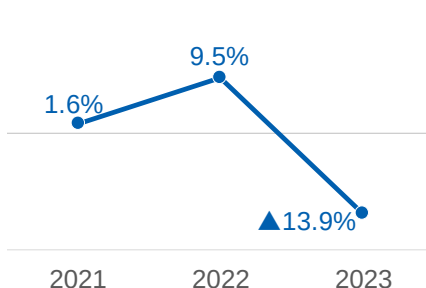
事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



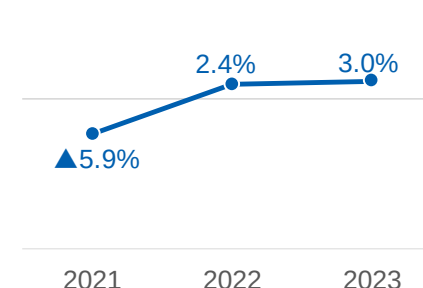
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



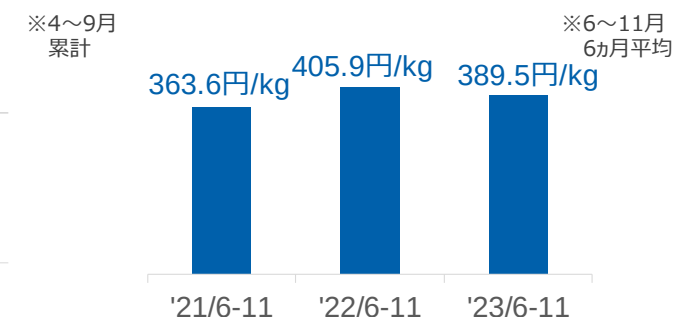
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均] (前年同期比)



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	143	140	▲3	▲2.1%				
2Q	150	137	▲13	▲9.1%	293	277	▲16	▲5.7%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						610		

- 輸送分野の需要が堅調に推移したが、建材分野や一般機械分野で需要の減少が続いていること
- アルミ地金市況に連動して売上が減少したことなど

セグメント利益

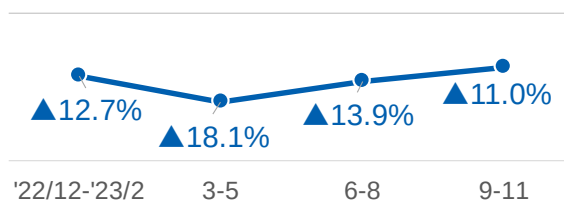
	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	8	4	▲3	▲44.4%				
2Q	10	10	▲0	▲4.7%	19	15	▲4	▲22.2%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						29		

- 販売構成の変化や売上高の減少など

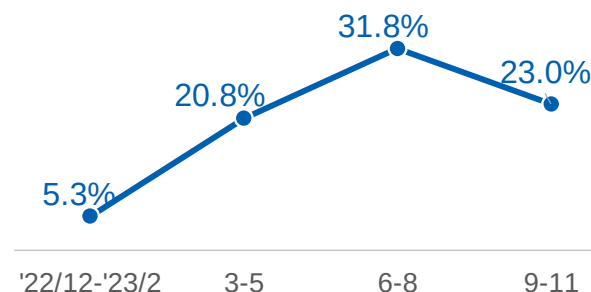
事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	91	97	+6	+7.2%				
2Q	116	124	+7	+6.3%	208	222	+13	+6.7%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						395		

- 投資が積極的な業態を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだことなど

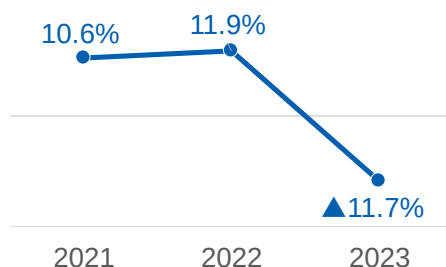
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	0	2	+1	+326.4%				
2Q	2	7	+5	+206.5%	3	10	+7	+229.3%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						11		

- 売上高の増加
- 価格改定を含めた収益改善施策の効果など

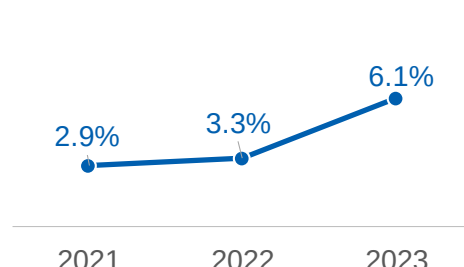
事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4～9月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	202	196	▲6	▲3.0%				
2Q	221	184	▲36	▲16.5%	424	381	▲42	▲10.0%
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画					840			

- 為替影響により増収効果はあったものの、アルミ地金市況に連動する売上が減少したこと
- 欧州の押出型材需要の低迷が続いていることなど

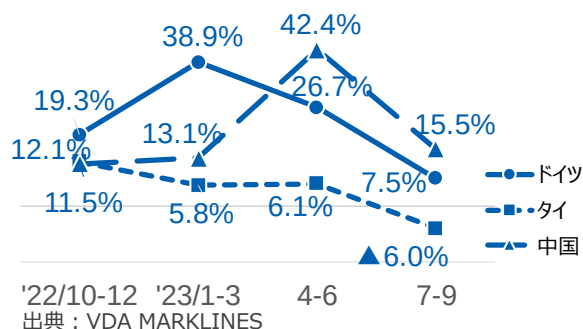
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	▲10	2	+13	-				
2Q	3	▲9	▲12	-	▲6	▲6	+0	-
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画					3			

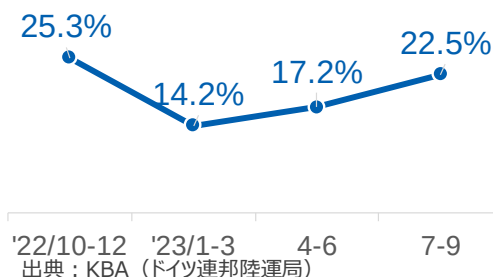
- 売上高の減少などがあったものの、販売構成や欧州子会社でのエネルギーや諸資材価格の上昇に対する価格転嫁などの改善

事業環境

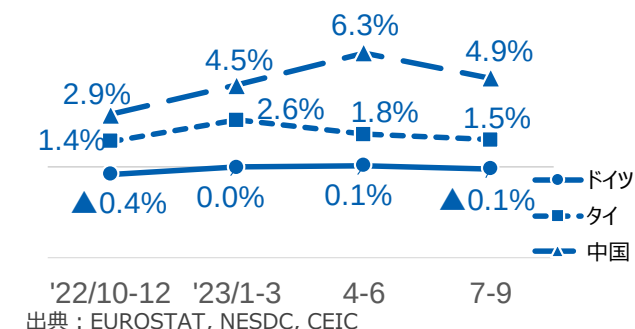
自動車生産台数（前年同期比）



ドイツEV自動車販売台数シェア



GDP（国内総生産）（前年同期比）



貸借対照表

2023/5期

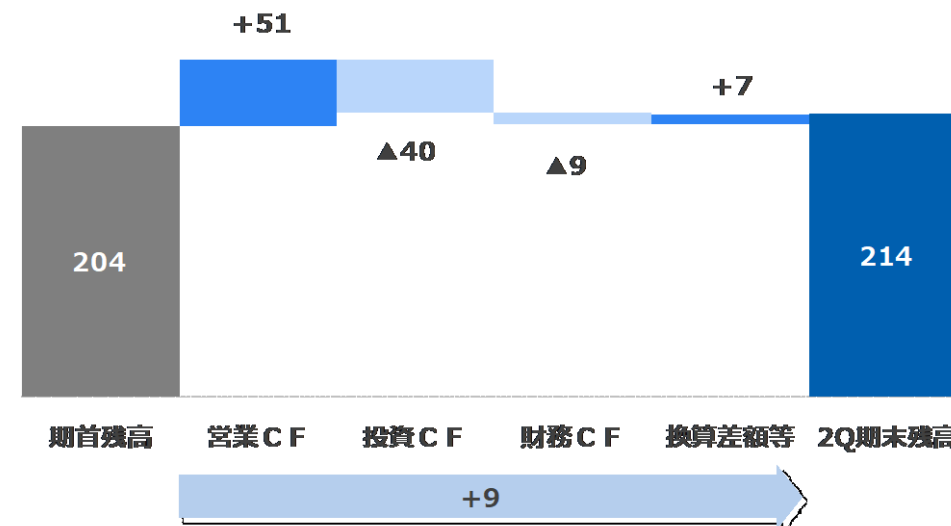
2024/5期 2Q

流動資産 1,512	流動負債 1,280	流動資産 1,547	流動負債 1,220
固定資産 1,316	固定負債 622	固定資産 1,346	固定負債 708
	純資産 926		純資産 964

	2023/5期 期末	2024/5期 2Q期末	前期末比
総資産	2,829	2,894	64
自己資本	894	933	38
自己資本比率	31.6%	32.2%	0.6p
有利子負債	825	830	5
有利子負債比率	92.2%	89.0%	▲3.2p

※自己資本：純資産－非支配株主持分
 自己資本比率：自己資本／純資産
 有利子負債：短期借入金＋長期借入金＋社債
 有利子負債比率：有利子負債額／自己資本

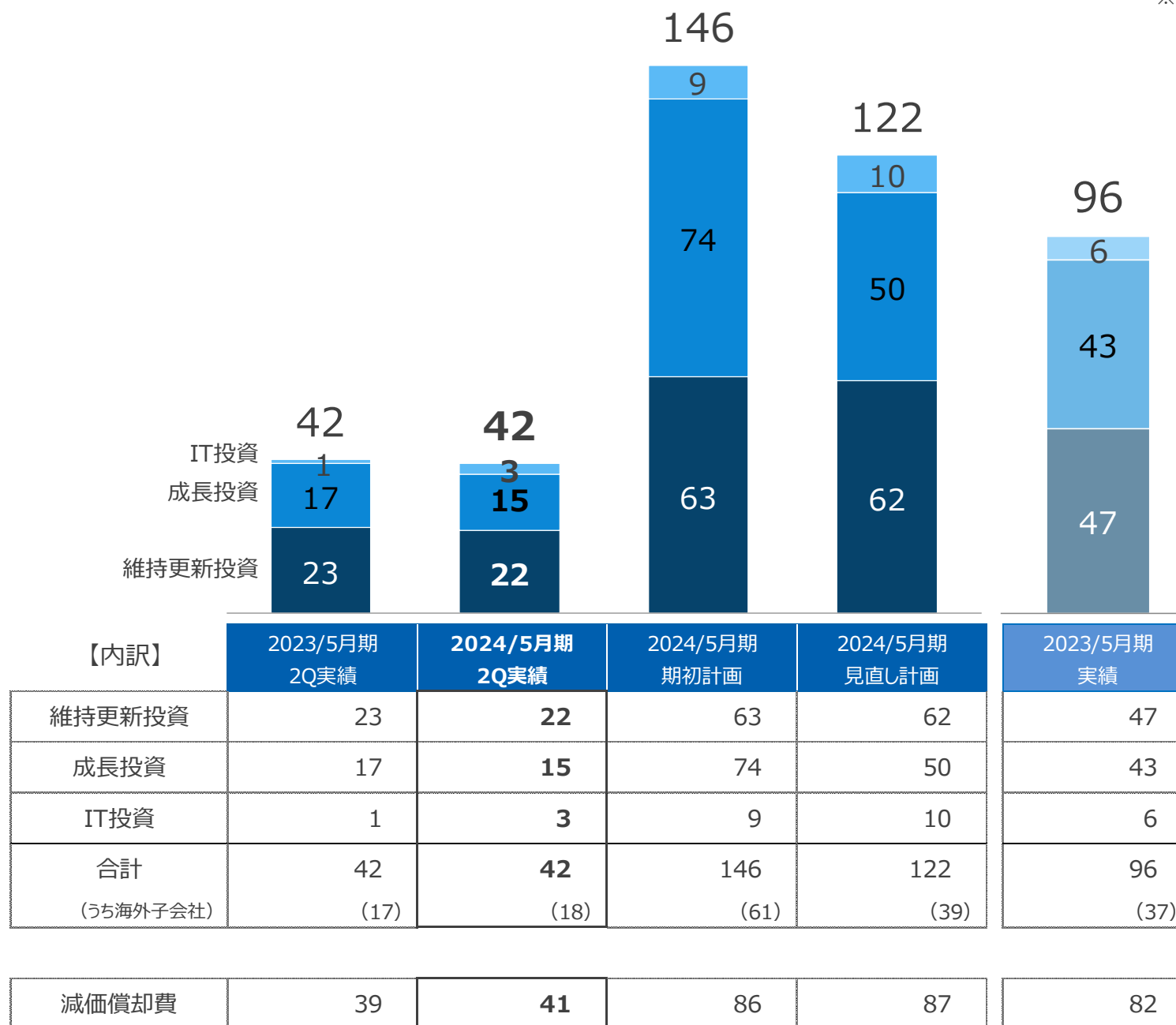
キャッシュ・フロー



営業CF	51	投資CF	▲40	財務CF	▲9
税金等調整前 当期純利益	25	有形固定資産の 取得による支出	▲42	短期借入金純増減 (▲は減少)	▲95
減価償却費	41	その他	2	長期借入れによる 収入	183
売上債権の増減 (▲は増加)	▲35			長期借入金の 返済による支出	▲90
棚卸資産の増減 (▲は増加)	17			配当金の支払額	▲3
仕入債務の増減 (▲は減少)	▲11			その他	▲3
法人税等の支払額	▲5				
その他	19				

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※金額は億円未満切り捨て表示



連結および持分法の適用範囲

(社)

	2023/5期 期末	2024/5期 2Q期末	前期末比
連結子会社	46	46	0
持分法適用会社	6	6	0
合計	52	52	0

人員の状況（正社員）

(名)

	2023/5期 期末	2024/5期 2Q期末	前期末比
三協立山	4,968	4,843	▲ 125
連結子会社	5,405	5,478	+ 73
合計	10,373	10,321	▲ 52

計画前提・実績

		期中 平均値	2023/5期 2Q実績	2024/5期 前提 (通期)	2024/5期 2Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～11月	405.9円/kg	375.0円/kg	389.5円/kg
為替	ドル	4～9月	134.0円	135.0円	141.1円
	ユーロ	4～9月	138.8円	140.0円	153.4円
	バーツ	4～9月	3.8円	3.8円	4.1円
	元	4～9月	19.9円	19.5円	19.7円

サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創生し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

50%減

対象：三協立山グループ Scope1+2※
(2017年度比)

循環アルミの
使用を促進

女性管理職比率

10%

※Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出 Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

E 環境



S 社会



G ガバナンス



■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社および連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性およびその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金などの価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。